

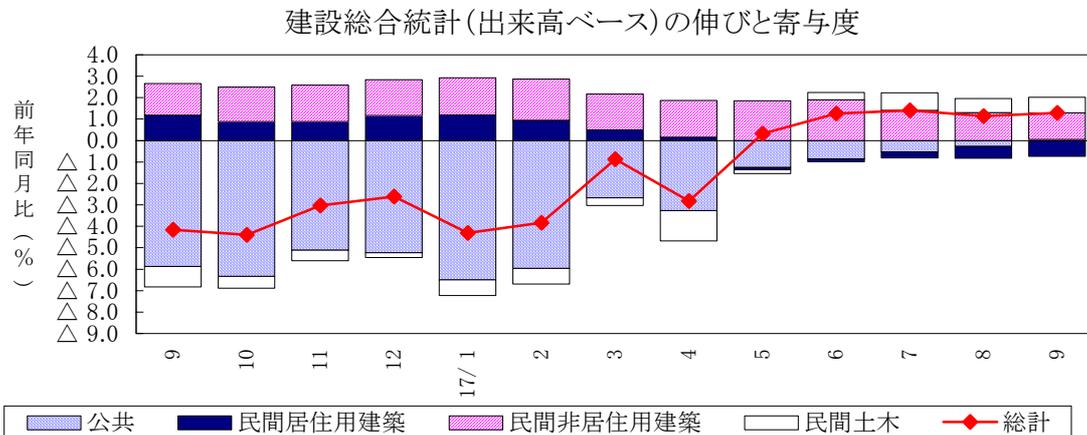
# 1. 建設投資の概況

## (1) 建設総合統計（出来高）

9月の建設総合統計を出来高でみると、全体で4兆7,120億円と対前年同月比1.3%増加した。

公共は、建築が2,330億円（前年同月比11.5%減）、土木が1兆4,883億円（同2.3%増）となり、全体では1兆7,213億円（同0.1%増）となった。

民間は、建築が2兆4,742億円（同0.9%増）、土木が5,166億円（同7.1%増）となり、全体では2兆9,907億円（同2.0%増）となった。



(単位:億円)

区分		総計	民間	建築		土木	公共	
				居住用	非居住用			
年	15年度	553,431	317,379	257,091	182,294	74,798	60,288	236,052
	16年度	529,330	326,160	269,803	186,261	83,542	56,357	203,170
月	17年 6月	39,076	27,203	22,744	15,389	7,355	4,459	11,873
	7	41,755	28,713	23,816	16,244	7,572	4,897	13,042
	8	44,083	29,298	24,509	16,728	7,782	4,789	14,785
	9	47,120	29,907	24,742	16,821	7,921	5,166	17,213

(対前年比、%)

年	15年度	△ 6.3	0.4	0.1	△ 0.2	0.9	1.7	△ 14.1
	16年度	△ 4.4	2.8	4.9	2.2	11.7	△ 6.5	△ 13.9
月	16年 9月	△ 4.2	2.9	5.6	3.5	10.7	△ 8.7	△ 14.2
	10	△ 4.4	3.5	5.5	2.7	12.3	△ 5.5	△ 14.3
	11	△ 3.0	3.8	5.8	2.8	13.2	△ 5.0	△ 11.2
	12	△ 2.6	5.0	6.7	3.9	13.4	△ 2.2	△ 11.1
	17年 1月	△ 4.3	4.2	6.9	4.1	13.5	△ 7.4	△ 13.6
	2	△ 3.8	3.9	6.6	3.1	14.2	△ 6.8	△ 13.0
	3	△ 0.9	3.3	5.0	1.7	12.4	△ 3.0	△ 5.9
	4	△ 2.8	0.7	3.8	0.5	11.2	△ 12.1	△ 8.4
	5	0.3	2.3	3.1	△ 0.3	10.7	△ 1.6	△ 4.0
次	6	1.3	3.1	3.1	△ 0.3	11.1	3.0	△ 2.7
	7	1.4	2.9	2.0	△ 0.7	8.3	7.4	△ 1.6
	8	1.1	2.2	1.4	△ 1.4	7.9	6.4	△ 0.8
	9	1.3	2.0	0.9	△ 2.0	7.8	7.1	0.1
累計	4月～9月	0.4	2.2	2.3	△ 0.8	9.4	1.6	△ 2.9

資料：国土交通省「建設総合統計」

注) 平成12年度以降のデータに対して、遡及して計算結果等の見直しを行っている。

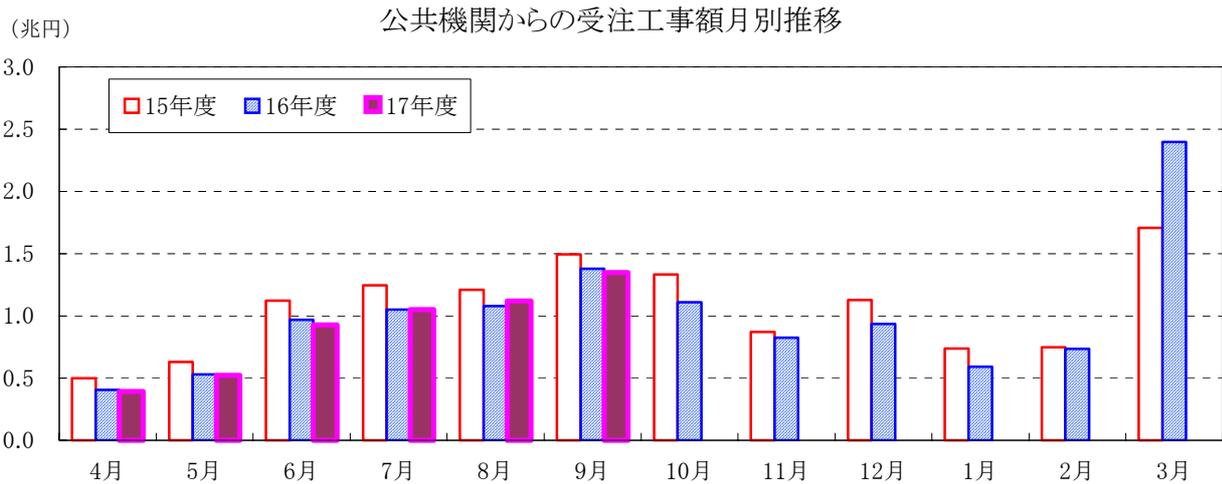
## (2) 公共機関からの受注工事

9月の公共機関からの受注工事額（1件あたり500万円以上の工事が対象。以下同じ。）は、国の機関4,379億円（前年同月比21.9%増、5ヶ月連続）、地方の機関9,104億円（同10.6%減、先月の増加から再び減少）となり、全体で1兆3,483億円（同2.1%減、3ヶ月ぶり）となった。

工事分類別で見ると、庁舎（同329.7%増、寄与度+6.1）、再開発（同184.0%増、寄与度+0.5）等が増加し、道路（同16.1%減、寄与度-4.6）、廃棄物処理（同44.8%減、寄与度-1.5）等が減少した。

さらに発注機関・工事分類別で見ると、都道府県の道路（寄与度-2.5）、市区町村の教育・病院（寄与度-2.1）等のマイナスの寄与度が大きい。

9月の大手50社調査では、公共工事は前年同月比27.7%増加（3ヶ月連続）した。

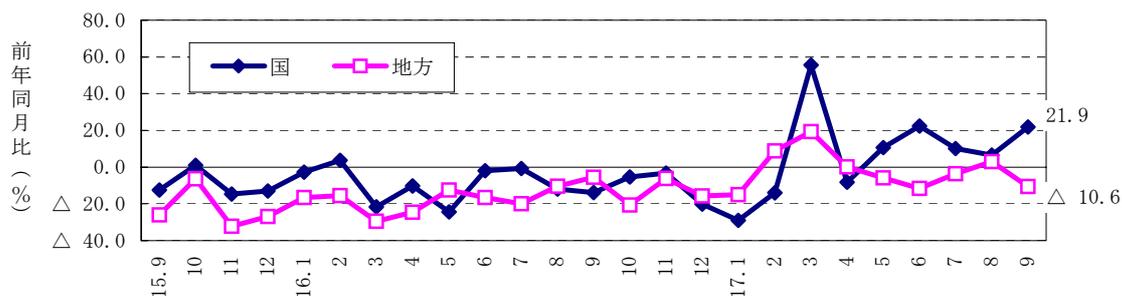


## 公共機関からの受注工事（対前年比、%）

区分 年度年月		総計	国の機関			地方の機関				
			小計	国	国以外 の機関	小計	都道 府県	市区 町村	地方 公営 企業	その他
年 度	14年度	△ 8.1	△ 11.2	△ 2.9	△ 21.9	△ 6.7	△ 6.2	△ 5.6	△ 10.6	△ 13.1
	15	△ 17.5	△ 14.3	△ 18.8	△ 6.9	△ 19.0	△ 22.4	△ 15.0	△ 22.1	△ 20.5
	16	△ 5.6	4.1	7.9	△ 1.4	△ 10.4	△ 9.8	△ 10.9	△ 6.3	△ 15.2
月 次	16年 9月	△ 7.8	△ 13.8	△ 28.1	6.5	△ 5.5	△ 6.5	△ 6.4	△ 12.0	22.8
	10	△ 16.6	△ 5.3	△ 14.3	7.6	△ 20.7	△ 12.6	△ 27.8	6.3	△ 59.1
	11	△ 5.3	△ 3.3	△ 31.2	34.3	△ 6.1	△ 9.4	4.2	△ 16.7	△ 40.0
	12	△ 17.0	△ 20.2	△ 8.2	△ 32.4	△ 15.6	△ 15.6	△ 15.2	△ 28.6	6.3
	17年 1月	△ 19.9	△ 29.0	△ 25.6	△ 33.2	△ 14.9	△ 15.0	△ 22.3	9.5	△ 1.8
	2	△ 1.5	△ 14.1	△ 10.4	△ 18.6	8.8	△ 4.0	15.3	70.1	△ 3.1
	3	40.5	55.6	84.3	△ 3.5	19.3	22.6	21.8	6.2	2.0
	4	△ 3.3	△ 8.2	7.9	△ 32.4	0.1	23.7	△ 6.2	△ 39.8	△ 25.5
	5	△ 1.6	10.6	16.8	3.5	△ 5.9	△ 7.2	0.5	△ 4.0	△ 65.4
	6	△ 4.1	22.3	6.4	35.0	△ 11.6	6.2	△ 18.2	△ 29.4	△ 22.9
7	0.1	10.2	28.1	△ 1.9	△ 3.6	17.6	△ 18.9	86.4	△ 31.6	
8	3.9	6.5	23.2	△ 7.6	3.1	6.8	2.8	△ 6.2	△ 15.3	
9	△ 2.1	21.9	42.1	2.5	△ 10.6	△ 10.8	△ 8.7	13.1	△ 48.1	
累計	4月～9月	△ 0.9	11.9	23.6	1.2	△ 5.6	2.9	△ 9.8	3.4	△ 35.1

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」

機関別受注工事額の推移



政府建設投資関連指標

(実数、億円)

	公共機関からの受注工事				前払請負額 (※)	出来高 (総合統計)	公的固定資本形成
	総計	[国の機関]	[地方の機関]	大手50社			
15年度	127,314	41,531	85,783	30,400	154,589	236,052	272,294
16	120,127	43,227	76,900	30,111	137,354	203,170	232,843
16年IV期	28,734	8,559	20,175	5,972	31,306	62,551	68,755
17年I期	37,266	20,268	16,999	13,699	29,212	55,457	65,105
II	18,423	5,678	12,744	3,722	35,392	37,675	43,515
III	35,193	10,429	24,763	7,715	37,857	45,040	52,678
17年4月	3,913	1,557	2,356	793	13,779	14,806	/
5	5,221	1,514	3,707	1,161	8,583	10,996	
6	9,289	2,607	6,682	1,768	13,030	11,873	
7	10,509	3,060	7,448	2,239	11,667	13,042	
8	11,201	2,990	8,211	2,054	12,042	14,785	
9	13,483	4,379	9,104	3,422	14,149	17,213	

(対前年比、%)

	公共機関からの受注工事				前払請負額 (※)	出来高 (総合統計)	公的固定資本形成
	総計	[国の機関]	[地方の機関]	大手50社			
15年度	△ 17.5	△ 14.3	△ 19.0	△ 12.0	△ 13.7	△ 14.1	△ 9.3
16	△ 5.6	4.1	△ 10.4	△ 0.9	△ 11.1	△ 13.9	△ 14.5
16年IV期	△ 13.8	△ 10.1	△ 15.3	△ 8.3	△ 15.2	△ 12.2	△ 10.5
17年I期	16.7	27.0	6.4	23.9	△ 5.5	△ 10.7	△ 17.7
II	△ 3.3	9.3	△ 8.0	0.2	△ 6.4	△ 5.4	△ 5.2
III	0.4	13.6	△ 4.3	14.7	△ 3.0	△ 0.7	△ 0.8
16年9月	△ 7.8	△ 13.8	△ 5.5	△ 23.2	△ 11.4	△ 14.2	/
10	△ 16.6	△ 5.3	△ 20.7	△ 11.0	△ 22.4	△ 14.3	
11	△ 5.3	△ 3.3	△ 6.1	9.6	△ 4.2	△ 11.2	
12	△ 17.0	△ 20.2	△ 15.6	△ 18.2	△ 14.6	△ 11.1	
17年1月	△ 19.9	△ 29.0	△ 14.9	△ 26.5	△ 12.6	△ 13.6	
2	△ 1.5	△ 14.1	8.8	△ 14.0	△ 3.2	△ 13.0	
3	40.5	55.6	19.3	53.1	△ 3.1	△ 5.9	
4	△ 3.3	△ 8.2	0.1	10.2	△ 11.3	△ 8.4	
5	△ 1.6	10.6	△ 5.9	5.8	△ 0.4	△ 4.0	
6	△ 4.1	22.3	△ 11.6	△ 6.8	△ 4.7	△ 2.7	
7	0.1	10.2	△ 3.6	11.5	△ 12.7	△ 1.6	
8	3.9	6.5	3.1	0.7	△ 0.2	△ 0.8	
9	△ 2.1	21.9	△ 10.6	27.7	4.1	0.1	
17年度累計	△ 0.9	11.9	△ 5.6	9.5	△ 4.7	△ 2.9	

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」、内閣府「四半期別国民所得統計速報」

北海道建設業信用保証(株)・東日本建設業保証(株)・西日本建設業保証(株)「公共事業前払保証統計」

注) 公的固定資本形成は、名目、原系列値。

(※) 公共機関からの受注工事が請負契約時点ベースでの請負契約の全体額を計上しているのに対し、前払請負額は前払保証契約時点ベースでの前払保証の対象となる請負金額を計上している等の理由により、必ずしも両者の傾向は一致しない。

### (3) 住宅

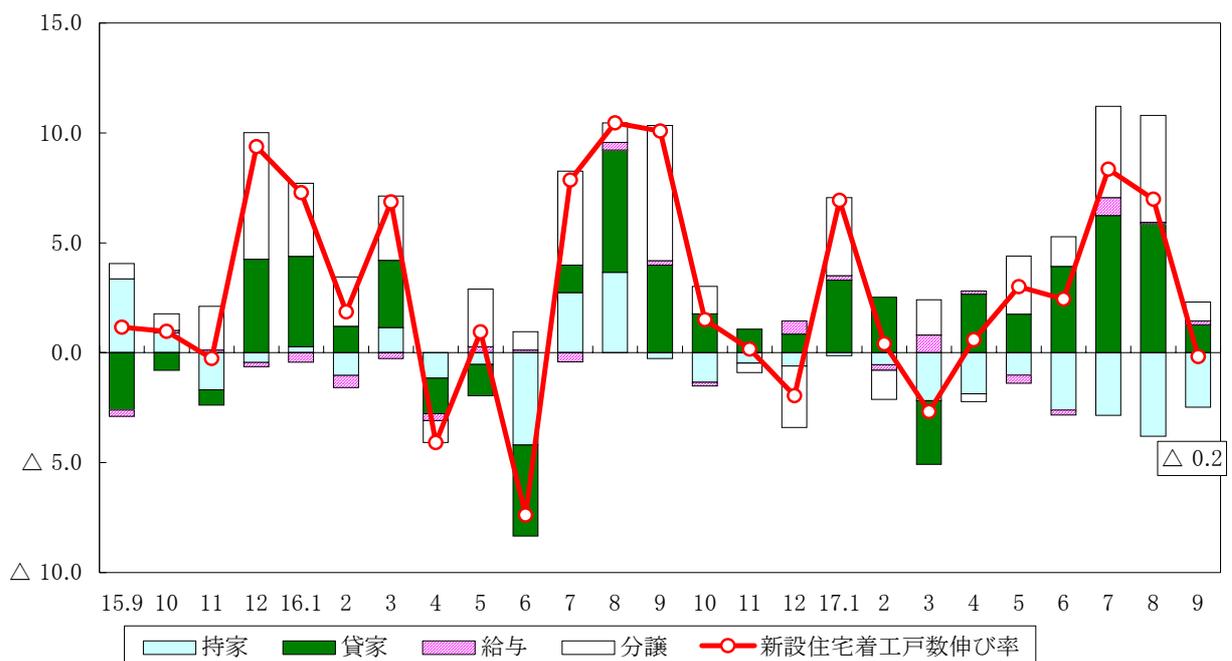
9月の着工は108,086戸。対前年同月比でみると、貸家、分譲住宅が増加したものの、持家が減少したため、全体で0.2%減少(6ヶ月ぶり)した。

季節調整済年率換算値の推移をみると、平成16年7-9月期1,228千戸(前期比7.0%増)、10-12月期1,183千戸(同3.7%減)、平成17年1-3月期1,221千戸(同3.3%増)、4-6月期1,169千戸(同4.2%減)、7-9月期1,289千戸(同10.3%増)となった。

新設住宅着工戸数(戸、対前年比・%)

区 分 年度年月		総戸数	総 計	持 家		貸 家	分 譲 住 宅		季節調整値 (年率換算) 総戸数 (千戸)
				公 庫 融 資			マ ン シ ョ ン		
年 度	14年度	1,145,553	△ 2.4	△ 3.1	△ 56.7	2.8	△ 8.1	△ 11.0	総戸数 (千戸)
	15	1,173,649	2.5	2.1	△ 31.5	0.9	5.6	2.0	
	16	1,193,038	1.7	△ 1.6	△ 52.2	1.9	4.6	2.5	
月 次	16年9月	108,281	10.1	△ 0.8	△ 59.0	10.2	23.4	32.7	1,247
	10	106,145	1.5	△ 4.5	△ 65.1	4.4	4.3	3.1	1,187
	11	98,561	0.2	△ 1.6	△ 69.4	2.6	△ 1.5	△ 8.4	1,152
	12	98,849	△ 2.0	△ 2.2	△ 63.5	2.1	△ 8.9	△ 17.7	1,185
	17年1月	94,944	6.9	△ 0.5	△ 62.4	8.4	10.7	13.7	1,302
	2	85,288	0.4	△ 1.8	△ 58.4	6.7	△ 4.2	△ 8.6	1,173
	3	90,789	△ 2.7	△ 6.8	△ 57.1	△ 7.6	5.6	14.5	1,166
	4	96,740	0.6	△ 5.5	△ 50.4	7.2	△ 1.3	△ 3.5	1,138
	5	101,862	3.0	△ 3.1	△ 39.8	4.6	9.5	17.1	1,205
	6	109,184	2.4	△ 7.7	△ 42.5	10.3	5.0	10.9	1,222
	7	115,343	8.3	△ 8.5	△ 43.2	17.3	14.0	25.9	1,335
	8	109,199	7.0	△ 10.9	△ 38.7	15.3	18.7	38.9	1,271
9	108,086	△ 0.2	△ 8.1	△ 31.7	3.3	2.9	6.4	1,245	
累計	4月～9月	640,414	3.5	△ 7.4	△ 41.6	9.6	8.1	15.3	—

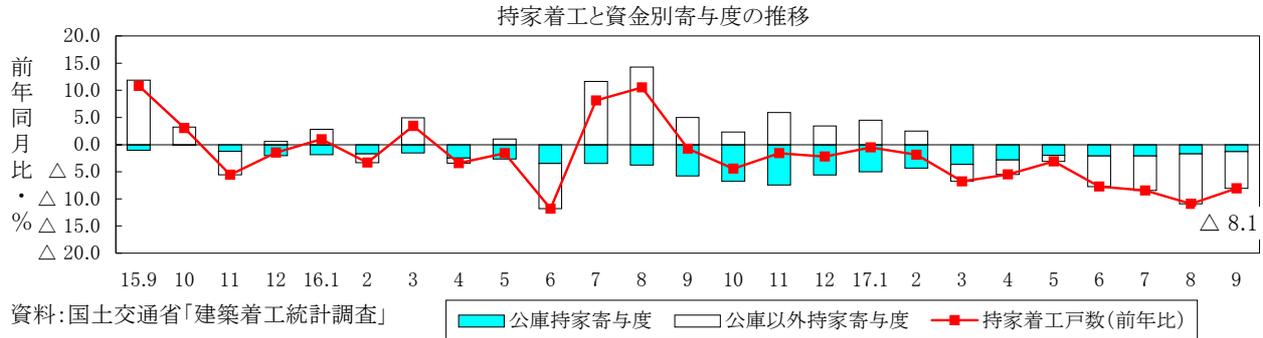
新設住宅着工戸数の伸びと利用関係別寄与度



資料:国土交通省「建築着工統計調査」

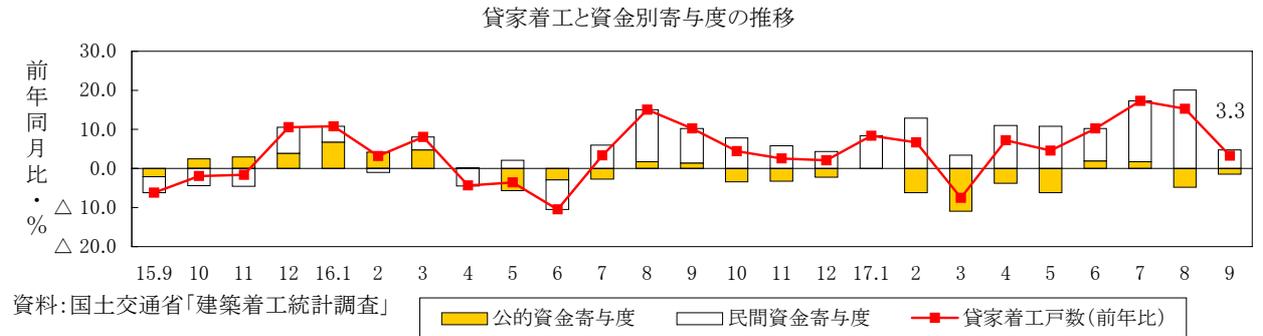
<持家>

9月の着工は30,590戸。九州では増加、その他の地域では減少し、全体では前年同月比8.1%減少(13ヶ月連続)した。公庫融資による持家は922戸で同31.7%減少(68ヶ月連続)し、民間資金による持家は27,595戸で同7.4%減少(7ヶ月連続)した。



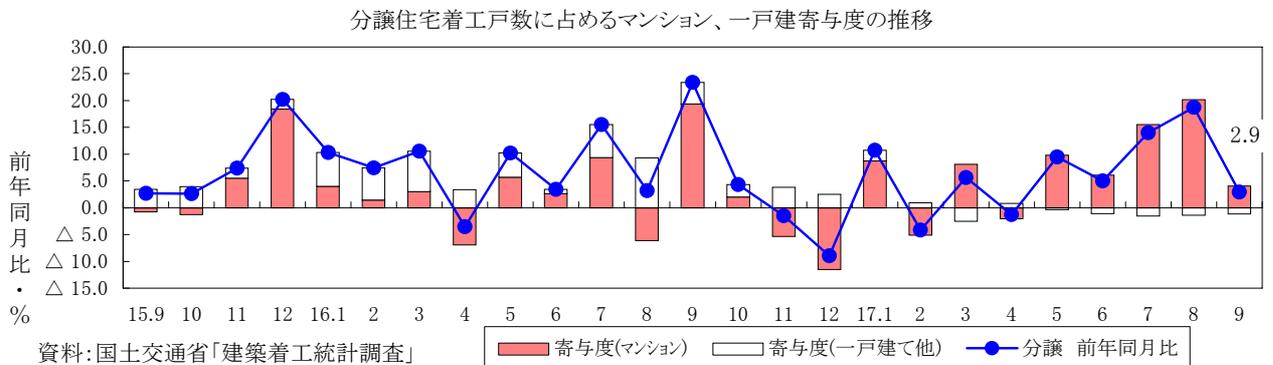
<貸家>

9月の着工は43,745戸。北陸、中国、四国、九州、沖縄では減少、その他の地域では増加し、全体では前年同月比3.3%増加(6ヶ月連続)した。公的資金による貸家は5,789戸で同9.8%減少(2ヶ月連続)し、民間資金による貸家は37,956戸で同5.6%増加(15ヶ月連続)した。



<分譲>

9月の着工は32,915戸。関東、中部、中国、九州では減少、その他の地域では増加し、全体では前年同月比2.9%増加(5ヶ月連続)した。マンションは21,688戸で、首都圏(11,433戸、前年同月比1.3%減、3ヶ月ぶり)は減少、中部圏(611戸、同29.6%減、7ヶ月ぶり)は減少、近畿圏(5,076戸、同34.5%増、4ヶ月連続)は増加、その他の地域(4,568戸、同9.9%増、先月の減少から再び増加)は増加し、全体では同6.4%増加(5ヶ月連続)した。一戸建住宅は11,099戸で、同3.3%減少(5ヶ月連続)した。



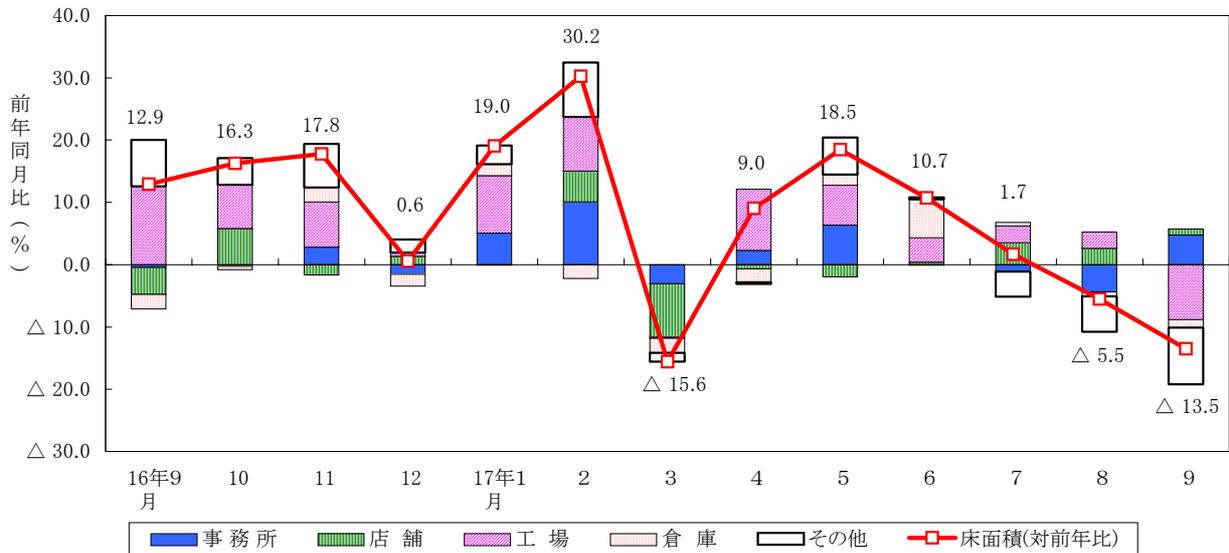
#### (4) 民間非居住建築

9月の着工床面積は512万㎡で前年同月比13.5%減少(2ヶ月連続)した。

着工床面積を用途別にみると、事務所は70万㎡で前年同月比66.5%増加(4ヶ月ぶり)、店舗は98万㎡で同6.3%増加(4ヶ月連続)、工場は89万㎡で同37.0%減少(6ヶ月ぶり)、倉庫は61万㎡で同10.7%減少(2ヶ月連続)した。

日本銀行「全国企業短期経済観測調査」(平成17年9月実施)で平成17年度の設備投資計画をみると、製造業(大企業)は前年度比16.2%増加(平成16年度同18.1%増加)となり、非製造業(大企業)は同5.9%増加(平成16年度同1.2%減少)となった。また、全産業(大企業)の生産・営業用設備判断DI(過剰・不足)をみると、「最近」は1、「先行き」は1となり、先行きの設備過剰感は改善傾向にある。

民間非居住用建築物着工床面積の伸びと用途別寄与度



(対前年比、%)

区分	年度年月	床面積					工事費予定額				
		総計	事務所	店舗	工場	倉庫	総計	事務所	店舗	工場	倉庫
年	14年度	△ 2.9	△ 16.6	23.9	△ 16.4	△ 7.0	△ 9.2	△ 25.2	11.1	△ 20.2	△ 12.8
	15	8.0	11.2	2.5	13.7	9.4	8.8	25.1	△ 5.0	16.8	17.3
	16	13.8	9.6	7.5	36.0	8.8	9.7	7.1	8.5	44.2	5.1
月	16年9月	12.9	△ 5.2	△ 19.7	87.0	△ 15.3	20.6	△ 1.8	2.8	181.2	△ 28.8
	10	16.3	△ 2.5	30.4	45.6	△ 4.1	14.7	5.2	27.7	76.0	△ 12.0
	11	17.8	28.8	△ 9.2	36.9	19.1	4.9	37.0	△ 6.2	15.9	16.2
	12	0.6	△ 12.7	8.4	2.8	△ 15.0	△ 6.3	△ 40.4	3.8	10.5	△ 22.3
	17年1月	19.0	34.6	△ 0.8	48.4	15.9	13.8	0.9	9.8	43.8	21.4
	2	30.2	83.3	22.7	44.9	△ 17.4	40.2	137.6	24.0	41.3	△ 29.8
	3	△ 15.6	△ 24.6	△ 38.9	△ 1.5	△ 16.7	△ 22.8	△ 44.9	△ 25.8	2.7	△ 22.4
	4	9.0	29.4	△ 3.6	41.1	△ 13.6	11.8	27.8	3.5	26.7	△ 8.7
	5	18.5	61.6	△ 9.0	29.4	13.0	46.5	176.7	22.9	28.4	29.9
次	6	10.7	△ 1.0	1.6	19.3	47.2	16.6	14.8	33.9	19.4	43.5
	7	1.7	△ 9.9	20.3	14.3	4.6	6.2	△ 10.1	20.8	35.1	△ 8.3
	8	△ 5.5	△ 30.1	15.5	16.6	△ 5.0	△ 11.4	△ 58.3	8.7	23.7	5.5
	9	△ 13.5	66.5	6.3	△ 37.0	△ 10.7	△ 12.0	89.0	△ 10.0	△ 36.7	△ 4.4
累計	4月~9月	2.8	10.9	4.8	11.9	5.7	7.3	11.7	14.0	12.2	8.7

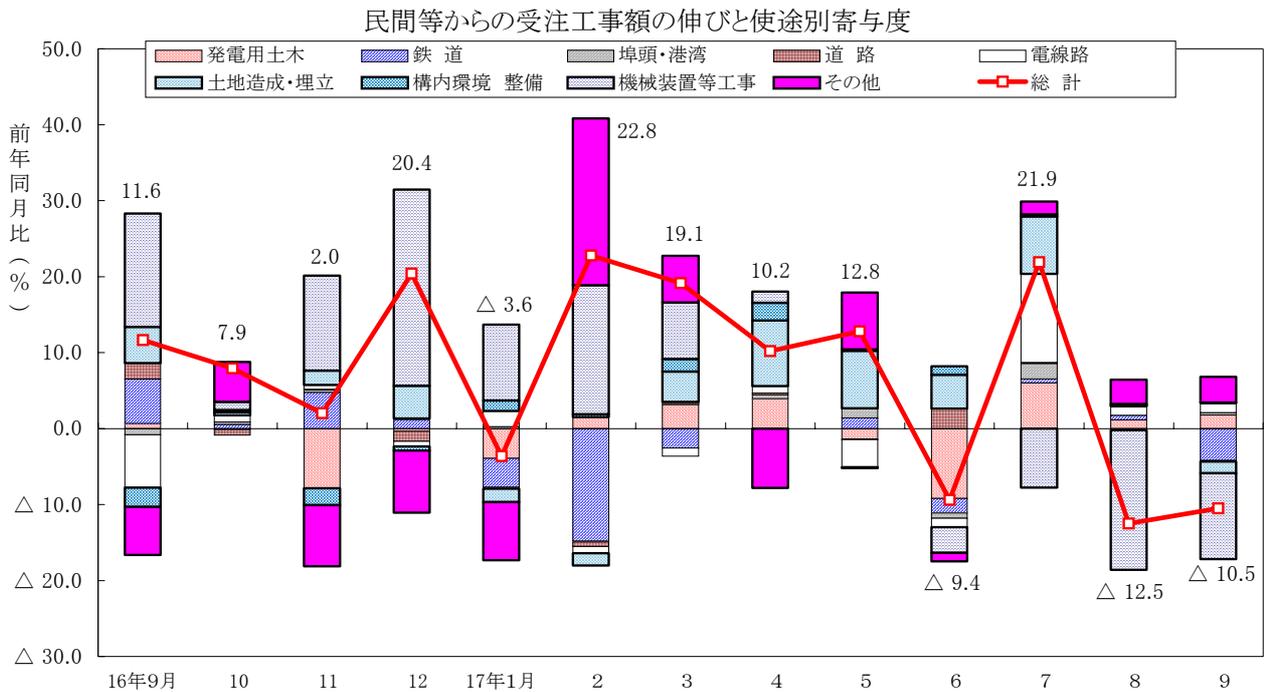
資料：国土交通省「建築着工統計調査」

(5) 民間等からの受注工事（土木工事および機械装置等工事）

9月の土木工事及び機械装置等の受注工事額（1件あたり500万円以上の工事が対象。以下同じ。）は2,986億円で、前年同月比10.5%減少（2ヶ月連続）した。

発注者別でみると、サービス業（前年同月比65.5%増、寄与度+3.6）、鉱業、建設業（同216.7%増、寄与度+2.2）等が増加し、電気・ガス・熱供給・水道業（同49.8%減、寄与度-13.7）、運輸業（同31.7%減、寄与度-7.5）等が減少した。

工事種類別でみると、その他の土木工事（寄与度+2.2）、発電用土木工事（寄与度+1.8）等が増加し、機械装置等工事（寄与度-11.3）、鉄道工事（寄与度-4.2）等が減少した。



(対前年比、%)

		総計	発電用土木	鉄道	埠頭・港湾	道路	電線路	土地造成・埋立	構内環境整備	機械装置等工事
年	14年度	△ 10.6	△ 21.1	10.8	83.0	△ 25.4	△ 22.9	△ 38.4	△ 26.7	△ 8.9
	15	1.4	2.5	△ 8.2	△ 34.1	7.8	5.6	0.6	41.0	△ 1.7
	16	5.5	4.7	△ 11.4	4.6	△ 5.9	△ 15.2	7.8	△ 0.8	30.9
月	16年9月	11.6	46.9	39.9	△ 68.4	246.1	△ 43.2	82.1	△ 53.7	43.9
	10	7.9	△ 8.6	3.9	41.3	△ 50.9	6.1	6.2	6.8	2.5
	11	2.0	△ 70.9	34.5	78.5	6.2	5.3	39.2	△ 43.7	39.7
	12	20.4	△ 8.5	8.6	22.3	△ 43.5	△ 6.4	65.9	△ 16.0	78.5
	17年1月	△ 3.6	△ 65.3	△ 23.8	35.7	△ 15.3	13.2	△ 22.6	59.5	31.5
	2	22.8	84.3	△ 55.1	△ 9.7	△ 40.1	△ 7.6	△ 20.4	16.5	34.2
	3	19.1	72.5	△ 8.6	19.1	17.3	△ 13.3	61.6	124.3	20.0
	4	10.2	580.5	0.2	76.5	13.8	5.9	118.9	58.8	4.1
	5	12.8	△ 51.5	13.7	186.4	△ 3.9	△ 31.7	113.7	△ 2.6	0.4
次	6	△ 9.4	△ 86.9	△ 12.2	△ 50.0	488.0	△ 9.3	79.8	41.6	△ 9.1
	7	21.9	370.6	4.2	271.8	7.3	91.6	103.9	6.5	△ 16.8
	8	△ 12.5	92.1	3.9	△ 0.8	△ 12.3	13.0	1.1	6.9	△ 36.3
	9	△ 10.5	95.8	△ 23.0	91.2	△ 6.0	15.3	△ 16.1	4.1	△ 25.7
累計	4月～9月	1.1	13.4	△ 6.1	73.0	26.7	17.0	51.9	17.3	△ 16.5

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」